

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞

第27号

2008年12月19日発行

http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp docomo au/ソフトバンク

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



今年も幹事合宿大成功！

11月29・30に開催された幹事合宿は、参加者9名全てが講師になり、かつてない程内容の濃い合宿となりました。

残念ながら、葉山議長は仕事で参加できませんでしたが、松本副議長の開会挨拶のあと、各自が講義を行い、「労働者の置かれている情勢」「アメリカの貧困」「米軍基地と安保10条」「日本の仏教について」「トルコについて」「日本原産のユリとその栽培」について学習しました。また、恒例となった、綱領「横須賀・三浦地域労連がめざす道」読み合わせも行い、地域労連の役割を再認識しました。

夕食のあとの2次会を中心に、写真の上映も行い、「汽車ポッポ」「ベトナムの旅」の写真や「南アフリカ・トルコの旅行」のビデオを楽しみました。また、「ソーシャルダンス」は、音楽をかけて全員で実際にステップを踏みながらダンスを体験しました。

また、楽しみにしていた夕食は、60センチのヒラメの刺身やマグロのかぶと焼きなど、度肝を抜かれる迫力で、想像以上に楽しむ事が出来ました。

100年に一度と言われる金融恐慌のもと、労働運動は、3万人を超える派遣切りなど、厳しい状況におかれています。こういう時こそ、運動にロマンを求め、へこたれずに頑張り続ける事が大事だと思います。

原子力空母母港化返上闘争、その後・・・

12/7、市民団体「いらない！原子力空母」主催の「第九パレード」が行われ、100人の参加者がお揃いの白い帽子やピンクのネックチーフ・手袋で装い、元気いっばいに横須賀の街を歩きました。沿道を行く人たちも、デモ行進とは違う華やかさに、携帯で写真を撮る姿が目立ちました。

また12/14には「成功させる会」主催のシンポジウムが行われ、107名の参加者が、井原前岩国市長らの話に耳を傾けていました。12/18には、市長選に向けた話し合いも行われています。

一方、12/16の防災訓練のあと、蒲谷市長は、「住民参加の訓練は必要ない」などと暴言を吐き、市民の怒りを買っています。

日産追浜工場で派遣切り追加！

日産は、派遣社員の削減数を500人追加し、全ての派遣を切る事になりました。追浜工場でも新たに340人が対象となります。契約期間中に打ち切られる人もいます。工場従業員向けに営業する地元商店街も、売り上げ激減に悲鳴を上げています。

日産自動車は、当期純利益4822億円、1株あたりの配当額40円です。45億株の株主配当を1円ずつ賃金に回せば、派遣社員を「解雇」しなくてもすむのです。